

# Firepower 移行ツール v1.3 リリース ノート

初版 : 2019 年 4 月 9 日

最終更新 : 2019 年 5 月 30 日

## Firepower 移行ツールによるこそ

このドキュメントでは、Cisco Firepower 移行ツールに関する重要かつリリース固有の情報について説明します。Firepower のリリースに精通しており、移行プロセスを以前に経験したことがある場合でも、このドキュメントをよく読んで理解していることを確認してください。

## このリリースの新機能

このリリースでは、次の機能が追加されました。

- **ASA ログイン** : 移行ツールでは、管理者クレデンシャルと ASA で設定されているイネーブルパスワードを使用して ASA に接続することができます。

ASA にイネーブルパスワードが設定されていない場合は、移行ツールでこのフィールドを空白のままにしておくことができます。

- **バンドル機能のサポート** : 移行の失敗時にログファイル、DB、およびコンフィギュレーションファイルをダウンロードするためのカスタマーサポートを提供します。また、テクニカルチームに電子メールでサポートケースを上げることでもできます。
- **NAT およびルートのサポートを移行しない** : 移行ツールは、選択した NAT ルールとルートインターフェイスの移行をスキップするサポートを提供します。移行ツールの以前のバージョンでは、このオプションはアクセスコントロールルールのみを提供されていました。
- **IPv6 のサポート** : オブジェクト、インターフェイス、ACL、NAT、およびルートでの IPv6 設定の移行をサポートします。
- **インターフェイス マッピングの拡張** : 移行ツールでは、物理インターフェイス、ポートチャネル、およびサブインターフェイスの FTD オブジェクトタイプの物理インターフェイスに ASA インターフェイス名をマッピングすることができます。たとえば、ASA のポートチャネルを FMC の物理インターフェイスにマッピングできます。
- **インライングループ化のサポート** : 移行ツールを使用すると、CSM または ASDM の管理型設定を解析できます。

インライングループ化 CSM または ASDM 管理型設定をクリアすることを選択すると、事前に定義されたオブジェクトが実際のオブジェクトまたはメンバー名に置き換えられます。

CSM または ASDM 管理型設定をクリアしない場合、事前に定義されたオブジェクト名は移行のために保持されます。

#### • その他の更新

- **確認および検証の設定**画面から、解析されたアクセス コントロール、NAT、ネットワーク オブジェクト、ポート オブジェクト、インターフェイス、およびルートの設定項目を excel または CSV 形式でダウンロードできます。



(注) CSV ファイルをインポートすることはできません。

- app\_configファイル内の一括プッシュのバッチサイズ制限を次のように設定できるようになりました。
  - オブジェクトの場合、バッチサイズは500を超えることはできません。移行ツールによって値が 50 にリセットされ、一括プッシュが続行されます。
  - ACL、ルート、および NAT の場合、バッチサイズはそれぞれ 1000 を超えることはできません。移行ツールによって値が 1000 にリセットされ、一括プッシュが続行されます。

## サポートされている設定

移行では、次の設定要素がサポートされています。

- ネットワーク オブジェクト
- サービス オブジェクト (Firepower Threat Defense ではポート オブジェクトと呼ばれる)
- アクセス リスト
- NAT ルール
- インターフェイス (例外: 冗長、ルーテッドモード BVI、VTI (トンネルインターフェイス))



(注) 送信元 ASA にポート チャネル インターフェイスがある場合は、Firepower Management Center でポート チャネル インターフェイスを作成する必要があります。サブインターフェイスは自動的に作成されます。

- 静的ルート (SLA ट्रackingなし、動的ルーティングはサポートされません)
- ルーテッドおよびトランスペアレント ファイアウォール モード

- ネットワーク オブジェクトとグループ、ACL、およびルートでサポートされている name コマンドリファレンス

## 移行ワークフロー

移行ワークフローの一部として、次の重要なヒントに注意してください。

- **手動アップロード方式**：シングル コンテキスト モードでは、show run コマンドを使用して ASA 設定を取得します。マルチコンテキスト モードでは、show tech コマンドを使用して ASA 設定を取得します。
- **移行ツールからの ASA への接続**：マルチコンテキスト ASA では、ASA に接続した後に移行するコンテキストを選択し、ターゲット Firepower Threat Defense デバイスを選択します。最初のコンテキストの移行が完了したら、手順を繰り返して他のコンテキストを移行します。つまり、ASA に接続して移行するコンテキストを選択し、ターゲット Firepower Threat Defense デバイスを選択します。

## Firepower 移行ツールの機能

Firepower 移行ツールは、次の機能を提供します。

- 分析およびプッシュ操作を含む移行全体の検証
- オブジェクト再利用機能
- オブジェクト競合の解決
- インターフェイス マッピング
- インターフェイス オブジェクトの自動作成または再利用（セキュリティゾーンとインターフェイス グループ マッピングに対する ASA nameif）
- ターゲット Firepower Threat Defense デバイスのサブインターフェイス制限チェック
- サポートされているプラットフォーム
  - ：仮想 ASA から仮想 FTD へ
  - ：同じハードウェアでの移行（X から X デバイスへの移行）
  - ：X から Y デバイスへの移行（Y に多数のインターフェイスが存在）

## 移行レポート

Firepower 移行ツールは、次のレポートを移行の詳細とともに HTML 形式で提供します。

- 移行前のレポート
- 移行後のレポート

## のプラットフォームの要件 FirePOWER 移行ツール

移行ツールには、次のインフラストラクチャとプラットフォームの要件があります。

- Windows 10 オペレーティング システムまたは macOS バージョン 10.13 以降
- Google Chrome がシステムのデフォルト ブラウザ
- システムごとにツールのシングル インスタンス
- Firepower Management Center と Firepower Threat Defense がバージョン 6.2.3.3 以降であること

## 資料

このリリースでは次のドキュメントが提供されます。

- 『Firepower 移行ツール リリース ノート』
- 『Migrating ASA to Firepower Threat Defense with the Firepower Migration Tool』
- 『Open Source Used in Cisco Firepower Migration Tool』

## 未解決のバグおよび解決されたバグ

このリリースで未解決のバグおよび解決済みのバグには、Cisco バグ検索ツールを使用してアクセスできます。この Web ベース ツールから、この製品やその他のシスコ ハードウェアおよびソフトウェア製品でのバグと脆弱性に関する情報を保守する Cisco バグ追跡システムにアクセスできます。



- (注) Cisco Bug Search Tool にログインしてこのツールを使用するには、Cisco.com アカウントが必要です。アカウントを持っていない場合は、[Cisco.com](#) でアカウントに登録できます。バグ検索ツールの詳細については、「[バグ検索ツールのヘルプ \(Bug Search Tool Help\)](#)」 [英語] を参照してください。

Firepower 移行ツールの未解決および解決済みの問題の最新のリストについては、次のダイナミック クエリを使用してください。

- [未解決の警告](#)
- [解決済みの不具合 \(p.11\)](#)

---

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.